

# 宗教法人 カトリック札幌司教区

CATHOLIC BISHOP'S RESIDENCE  
10 HIGASHI 6 CHOME KITA 1 JO  
CHUO-KU, SAPPORO, 060-0031 JAPAN



カトリック札幌司教館  
〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10  
TEL 011-241-2785 FAX 221-3668

2016年3月24日

司祭、修道者、信徒の皆さまへ

カトリック札幌司教区  
司教 ベルナルド 勝谷 太治

## 北一条東6丁目の土地有効活用とカトリックセンター（仮称）建設の 今後の方向性について

### ✠ 主の平安

主のご復活を前に聖務等にお忙しいことと拝察申し上げます。私が札幌司教に叙階された頃から、北一条東6丁目の東側半分の土地を有効活用し、カトリックセンター（仮称）建設の資金を手当てできないか模索してまいりました。そして後述のように司教諮問会議を招集し、教区財産の有効活用に関して検討を始めて頂きました。

皆様ご存知のように、北一条東6丁目の土地は、西側およそ半分に北一条教会と認定こども園「聖園こどもの家」があります。そして東側半分には、司教館と別館、ベネディクトハウス、うえるかむはうす・みなずき会・北海道ダルクの活動施設（教区所有）、ボーイスカウトの施設の他に、北東部分には富澤司教時代から長年に渡り貸地していた土地（全体の4割ほど）があります。この部分は収益をあげることの難しい土地になっていました。そこで所有地の有効活用のためには、この借地権者の立ち退きが大前提となりました。地主司教の時からこの借地権者との立ち退き交渉を進めてきておりましたが、さらなるスピードアップを図り交渉を重ねた結果、ここに来てようやく全ての立ち退きの目途が立ちました。時間を要しましたが、立ち退きの目途が立ったことによって新たな展開が可能となり皆様にご報告できる運びとなりました。

北一条東6丁目土地の有効活用に関しまして、2014年4月28日に第一回の建築に関する司教諮問会議を招集して以来、司教諮問会議を8回、建築専門部会を20回ほど開催し検討して頂き、司祭評議会と教区宣教司牧評議会にも諮り、表題土地の有効活用に関する計画案（3事業者から提案）を検討して頂きました。司教諮問委員の皆様にご報告を兼ねて頂き、北一条東6丁目の土地利用計画の方向性が一本に固まり、やっと相手方と本格的な話し合いが始まりましたこと皆様にご報告させていただきます。

また、一昨年9月に札幌地区のブロック会議で活動拠点としてのカトリックセンター（仮称）へのご意見を頂きました。お寄せいただきました意見を別紙のようにまとめましたので皆様へお知らせいたしますとともに、これから札幌教区としてどのような宣教を行っていくかを考慮し建物の具体的な内容に関して委員会を立ち上げて、より具体的で実現可能な検討を進めていきたいと考えています。

しかし、北一条東6丁目土地の有効活用でカトリックセンター（仮称）の建設費の大まかな部分をまかなうことができると思われそうですが、規模によっては不足も予想されます。計画がはっきりしてきた段階で、目標を定めて寄付をお願いすることになると思っておりますがよろしく申し上げます。

いろいろの場や機会においてご意見をお聞かせいただいたことに、あらためて感謝申し上げますとともに、皆様のご協力に心より感謝しお礼を申し上げます。

主のみ旨が皆様の上に注がれますようにお祈り申し上げます。

# 宗教法人 カトリック札幌司教区

CATHOLIC BISHOP'S RESIDENCE  
10 HIGASHI 6 CHOME KITA 1 JO  
CHUO-KU, SAPPORO, 060-0031 JAPAN



カトリック札幌司教館  
〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10  
TEL 011-241-2785 FAX 221-3668

2016年3月24日

札幌地区

司祭、修道者、信徒の皆様へ

カトリック札幌司教区

司教 ベルナルド 勝谷 太治

「カトリックセンター（仮称）の内容の確認と諸活動の活動拠点の検討について」  
ご協力への御礼と今後の方向性について

一昨年9月に、標記の依頼について札幌地区の各ブロック・各小教区の皆様にご検討いただいたこと感謝申し上げます。

司教諮問委員の皆様にご検討を重ねて頂き、北一条東6丁目の土地利用計画の方向性が固まり、やっと相手方と本格的な話し合いが始まりましたのでご報告させていただきます。

これから皆様から頂いたご意見をふまえ、札幌教区としてどのような宣教を行っていくかなどを考慮し建物の具体的な内容を検討したいと考えております。別途全道宛での文書を参照頂き、諸事情ご推察の上で皆様へのご報告が大変遅くなりましたことご理解賜りたくお願い申し上げます。皆様のご協力には心より感謝申し上げます。

カトリックセンター（仮称）のご検討をお願いしたのは、教区所有地有効活用の取り組みの中で、司教館と付随する建物についても検討を要し、その参考とさせて頂くためのお願いでした。以前から「カトリックセンター」構想を聞いていましたが、イメージも様々で、もう少し内容について具体的に詰められたらと思い、諸条件を提示しないまま、まずは札幌地区の皆様にご急ぎお伺いした次第です。

皆様のご意見には、こうしたカトリックセンター構想の前に、

- ①小教区の諸課題（財政、高齢化、ブロック編成、統廃合など）を先に論じ、その中でセンターの必要性について考えるべき
  - ②教区の財政見通しやセンター維持費などと合わせて考えるべきで、それなくしてセンター建設の是非については考えられない
  - ③司教館等の老朽化に伴う立替なら最重要課題として取り組む必要がある
- などのご意見を頂きました。こうしたご指摘や課題について、今後も継続的に取り組んでいきますので、その諸施策の検討のために参考にさせていただきます。

また、カトリックセンター自体についての皆様のお考えをまとめますと、

- ①可能ならば多目的ホール、青年会や黙想会などで信徒の利用可能な宿泊施設、諸団体の活動場所の確保
  - ②司教・司祭とくに老齢司祭の生活拠点があればよいと思う
  - ③信者用よりも宣教の場と捉えることが重要である
- などのご意見がありました。

北一条東6丁目土地の有効活用で、センター建設資金の多くは賄えると思いますが、教区の今後の宣教をふまえて施設の内容を深めていけば資金が足りなくなる可能性がありますので、資金次第で考えていかねばならないことはご指摘の通りです。

今後も検討を進め、教区100周年の年に相応しい「カトリックセンター」を建設できるよう努力してまいります。センターが教区の中核としての機能にとどまらず、聖旨に従い福音宣教のシンボルとなることができますように、神の助けと導きをお祈りください。